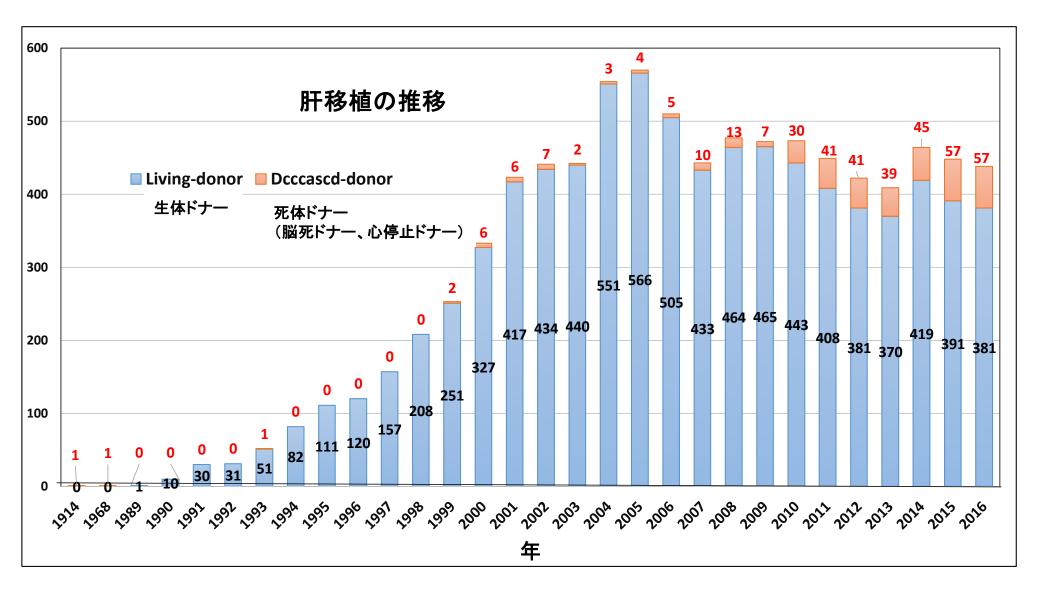
日本および金沢大学病院の肝移植の現状

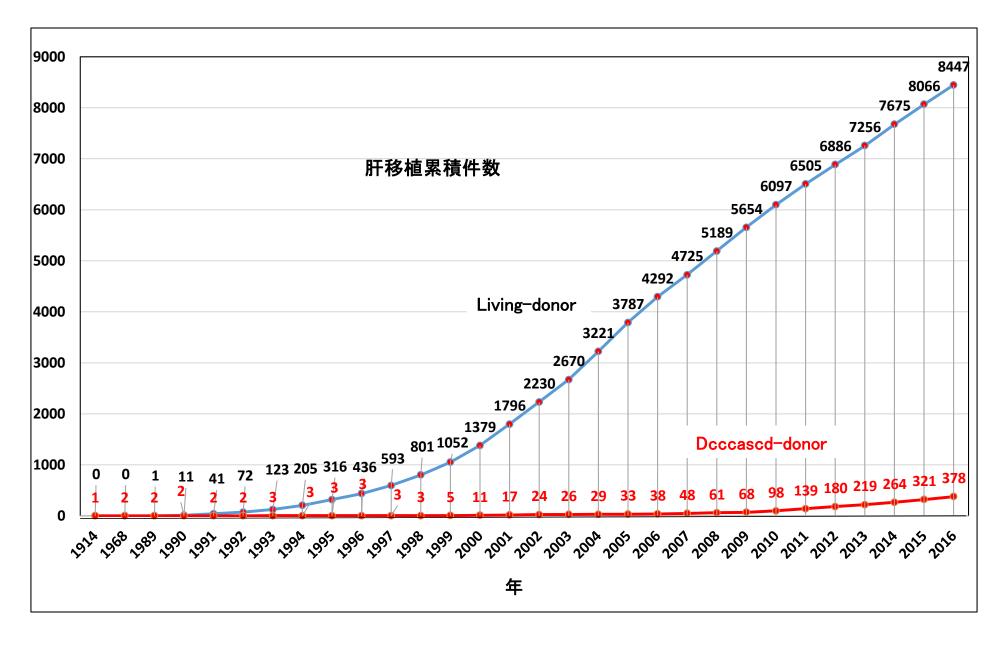
金沢大学附属病院 肝胆膵 • 移植外科

がばたりょうすけ 蒲田 亮介

2018/11/3



「肝移植症例登録報告」2016 日本肝移植研究会より 移植の総数は毎年着実に増加を続け2005年にピークに達した後、減少に転じ2007年以降は400台で推移している。 1999年に開始された脳死移植の年次実施数は、改正法が年度半ばに施行された2010年に30台と著明に増加し、2015年には初めて 年間50移植を超えた。

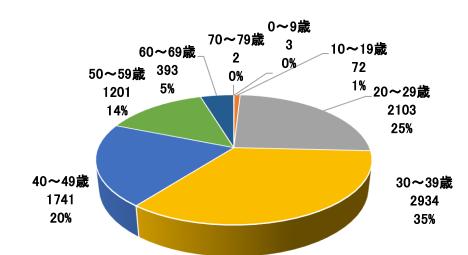


総移植数は8,825であり、ドナー別では、死体移植が378(脳死移植375、心停止移植3)、生体移植が8,447であった。 また、初回移植8,537、再移植274、再々移植14であった。

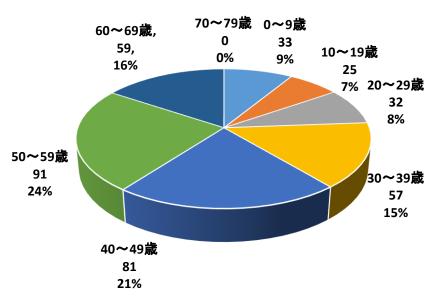
レシピエントの年齢・生体肝移植

70~79歳 60~69歳 23 1199 0% 0~9歳 14% 2545 30% 50~59歳 2150 10~19歳 26% 609 7% 20~29歳 40~49歳 30~39歳 416 971 534 5% 12% 6%

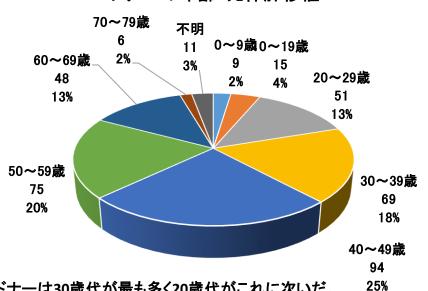
ドナーの年齢・生体肝移植



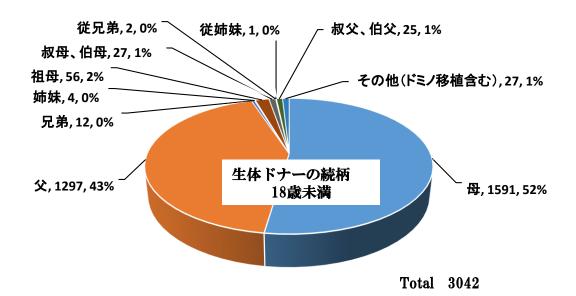
レシピエントの年齢:死体肝移植

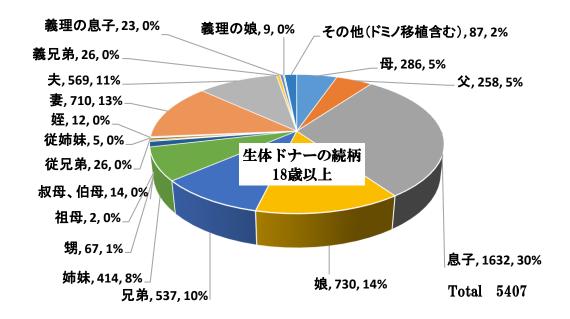


ドナーの年齢・死体肝移植



生体肝移植時のレシピエンの年齢では10歳未満、50歳代となった。生体ドナーは30歳代が最も多く20歳代がこれに次いだ。 最年少は17歳、最高齢は70歳であった。10歳未満のドナーはすべてドミノ移植の二次ドナーであった。





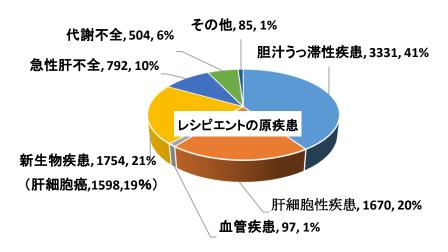
生体ドナーの続柄

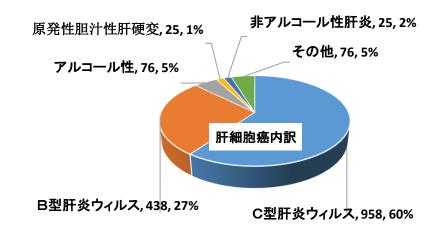
続柄	18歳未満 18歳以上		計	
母	1,591	286	1,877	
父	1,297	258	1,555	
息子	0	1,632	1,632	
娘	0	730	730	
兄弟	12	537	549	
姉妹	4	414	418	
甥	0	67	67	
祖母	56	2	58	
叔母、伯母	27	14	41	
従兄弟	2	26	28	
従姉妹	1	5	6	
叔父、伯父	25	0	25	
姪	0	12	12	
妻	0	710	710	
夫	0	569	569	
義兄弟	0	26	26	
義理の息子	0	23	23	
義理の娘	0	9	9	
その他(ドミノ移植含む)	27	87	114	
計	3,042	5,407	8,449	

18歳未満の生体ドナーは両親で95%を占めている。

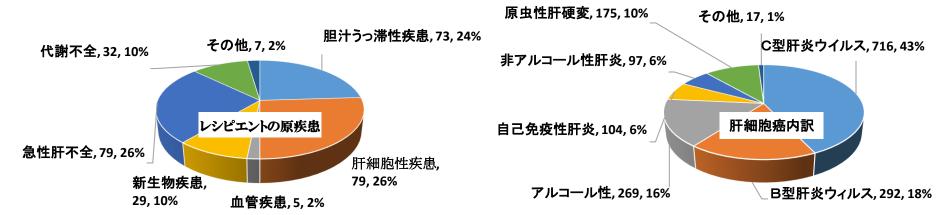
18歳以上の生体ドナーは息子(30%)、娘(14%)、妻(13%)、夫(11%)、兄弟(10%)、姉妹(8%)で全体の86%を占めている。

生体肝移植





死体肝移植



生体肝移植は胆汁うつ滞性疾患が最多を占めた。なお、肝細胞癌では、C型肝炎ウィルスによるものが最多であった。

死体肝移植は肝細胞性疾患が最も多く、胆汁うっ滞性疾患がこれに続いた。肝細胞癌では、生体肝移植同様、C型肝炎ウィルスによるものが最多であった。

レシピエントの原疾患:初回移植

原疾患		生体肝移植			死体肝移植			
		18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	
	胆道	道閉鎖症	1,964	219	2,183	12	14	26
	原発性胆汁性肝硬変		0	710	710	5	21	26
	原発性硬化性胆管炎		26	206	232	0	18	18
胆汁うっ	アラジール症候群		87	3	90	0	0	0
滞性 疾患	バイラー病		44	2	46	0	0	0
	カロリー病		10	10	20	0	0	0
	先列	で性二枝管拡張	6	8	14	0	0	0
	その)他	8	28	36	0	3	3
	小言	†	2,145	1,186	3,331	17	56	73
	C型	!肝炎ウイルス	1	715	716	0	31	31
	B型肝炎ウィルス		0	292	292	0	14	14
	アルコール性		0	269	269	0	11	11
肝細胞	自己免疫性肝炎		5	99	104	0	6	6
性疾患	非フ	アルコール性肝炎	2	95	97	0	8	8
	原虫性肝硬変		32	143	175	0	8	8
	その)他	9	8	17	0	1	1
	小言	†	49	1,621	1,670	0	79	79
	バッ	ド・キアリ症候群	7	47	54	0	3	3
	先ラ	F性門脈不在	28	3	31	0	0	0
疾患	その他		7	5	12	0	2	2
	小言	†	42	55	97	0	5	5
		C型肝炎ウイルス	0	958	958		28	28
	肝細的	B型肝炎ウィルス	0	438	438	0		
		アルコール性	0	76	76			
ll .		原発性胆汁性肝硬変	0	25	25			
		非アルコール性肝炎	0	25	25			
		その他	8	68	76	1	0	1
		小計	8	1,590	1,598	1	28	29
	肝ӭ	非 腫	101	1	102	0	0	0
	肝車	≅移	1	18	19	0	0	0
	神経鞘腫		5	7	12	0	0	0
	胆管細胞癌		1	10	11	0	0	0
	その他		5	7	12	0	0	0
	小計		121	1,633	1,754	1	28	29

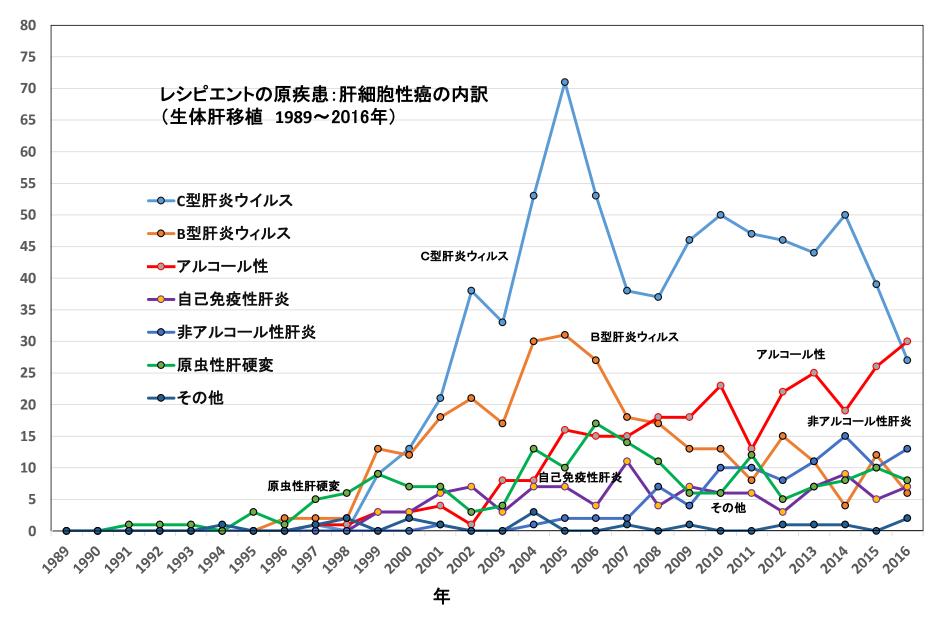
原疾患		生体肝移植			死体肝移植		
		18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	Ħ
急性 肝不全	B型肝炎ウィルス	7	151	158	1	23	24
	薬物誘発性	2	39	41	0	11	11
	自己免疫性肝炎	2	37	39	0	10	10
	ウィルス性 (≠B型肝炎ウィルス)	15	17	32	1	1	2
	新生児ヘモクロマトシ ス	10	0	10	0	0	0
	不明	221	283	504	3	28	31
	その他	2	6	8	1	0	1
	小計	259	533	792	6	73	79
	ウィルソン病	66	66	132	2	7	9
	家族性アミロイド	0	89	89	0	3	3
	OTC(一般医薬品) 欠陥	64	2	66	6	1	7
	シトルリン血症	15	41	56	1	7	8
	グリコーゲン貯蔵病	22	9	31	0	2	2
代謝	メチルマロン酸血症	31	0	31	0	0	0
不全	原発性高酸素尿症	14	6	20	0	0	0
	CPS(認知活動尺度) 不足	18	0	18	0	0	0
	チロシン血症	15	0	15	0	0	0
	プロピオン酸血症	10	0	10	0	0	0
	その他	28	8	36	2	1	3
	小計	283	221	504	11	21	32
その他	その他	36	49	85	0	7	7
	多嚢胞性肝臓	(0)	(0)	(0)	(0)	(7)	(7)
合計		2,935	5,298	8,233	35	269	304
()再掲							

()再掲

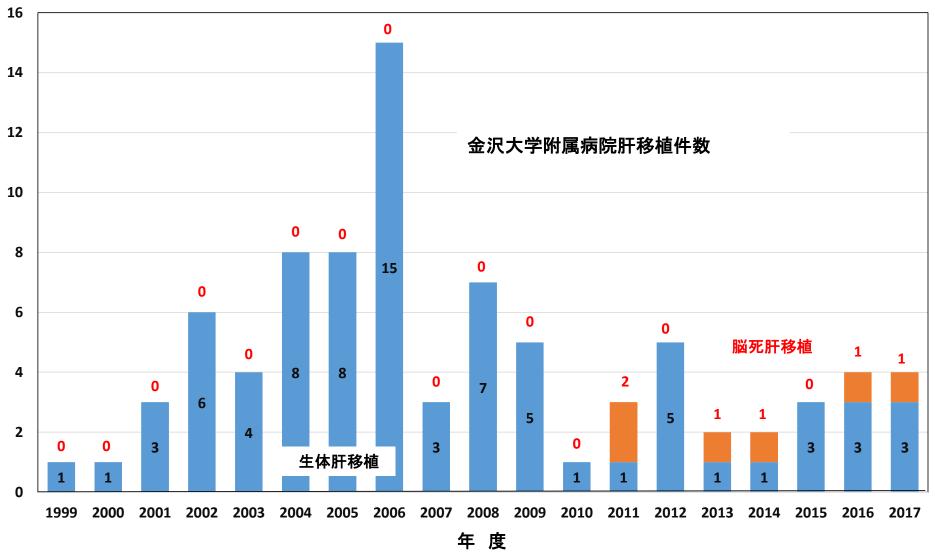
生体肝移植では、胆汁うつ滞性疾患が最多を占めた。

18歳未満は胆道閉鎖症、18時以上は原発性胆汁性肝硬変が多かった。

死体肝移植は近年、急性肝不全の増加が目立っている。 胆汁うっ滞性疾患の中では、原発性硬化性胆管炎が増加し、今回、胆道 閉鎖症に並んで最多となった。

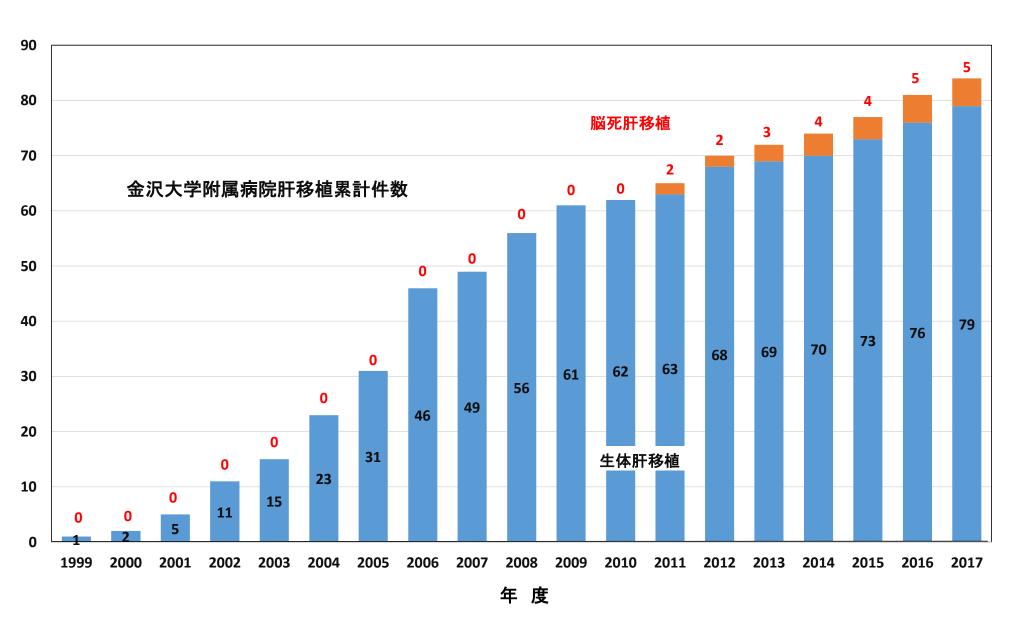


近年、B型ウィルス性肝硬変が減少し、代わってアルコール性肝硬変や非アルコール性肝硬変が増加する傾向があったが、2016年には、ついにアルコール性肝硬変が、C型ウィルス性肝硬変をしのぎ、肝細胞性疾患中の最多となった。



2001年頃から増加し、2006年をピークに減少傾向にあります。

今年の8月末、半年ぶりで生体肝移植を行いました。肝移植は年間3例程度といったところです。 移植希望者は決して少なくないのですが、ドナー候補者の健康上の問題で生体を断念せざるを得ないことが続いております。 一部の方は脳死待機に切り替えておりますが、年間70例程度の脳死ドナー発生状況では望むべくもありません。



金沢大学附属病院では、1999年より生体肝移植が開始され、2011年より脳死肝移植が開始されました。 2017年度末累計数は84(生体肝移植79、脳死肝移植5)

ご清聴有難う御座いました。

